

## 分野:器官系統病態学

主科目 副科目	消化器肝臓内科学 Gastroenterology and hepatology	DM_1409	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	---------------------------------------------	---------	----	------	------	-----------------

指導	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他
板橋	◎田中 篤 山本 貴嗣	浅岡 良成 小田島 慎也 相磯 光彦 (病院准教授)	有住 俊彦 阿部 浩一郎		
-					
-					

	消化器肝臓内科学Ⅰ（1年次）				消化器肝臓内科学Ⅱ（2年次）				消化器肝臓内科学Ⅲ（3年次）			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	<p>日常診療でしばしば経験する消化器肝臓疾患全般について、診断学、治療学を中心に幅広く学習する。 実際に症例を受持ち、専門的な立場から診断、治療を行い、必要に応じて上級医の指示を仰いだり、外科、放射線科、病理等、他科の専門家と積極的に討議を行い、臨床消化器肝臓学を実践的に学ぶ。</p>				<p>日常診療でしばしば経験する消化器肝臓疾患のみならず、まれな消化器肝臓疾患に対しても診断学、治療学を中心に幅広く学習する。 1年次と同様に、実際に症例を受持ち、まだ診断のついていない症例や、まれな疾患が疑われる症例を多数経験する。</p>				<p>消化器肝臓疾患の背景にある、さまざまな基礎的臨床的な学問としての体系を習得するようにつとめる。 また、診断・治療法が確立された疾患に関して、最新の診断法・治療法を学ぶと同時に、診断的に未解決な病態や、治療法の確立されていない病態に関して、これまでの知識を整理し、現状でどのように対応すべきか判断できる能力を培う。</p>			
到達目標	<p>超音波検査、内視鏡検査や透視検査などは、消化器肝臓診断学の根幹をなす専門的検査であり、実際に機器を操作したり、検査の安全性に関して広く知識を習得する。</p>				<p>超音波検査、内視鏡検査や透視検査に関しては、上級医の指導を仰ぎながら、最終的には独立して安全かつ正確な検査が敢行できるレベルを目標とする。</p>				<p>超音波検査、内視鏡検査や透視検査に関しては、診断のみならず治療手技を学習し、実際に治療スタッフの一員として、与えられた役割を遂行できることを目標とする。</p>			
事前事後学修	<p>指定した教材を読んでおくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>指定した教材を読んでおくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>指定した教材を読んでおくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			
評価方法	<p>受講態度 80% レポート 20%</p>				<p>受講態度 80% レポート 20%</p>				<p>受講態度 80% レポート 20%</p>			

## ■主な演習(講義・実習含む)

	消化器肝臓内科学Ⅰ (1年次)	消化器肝臓内科学Ⅱ (2年次)	消化器肝臓内科学Ⅲ (3年次)
板橋	水 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 腹部超音波検査、消化器内視鏡(含む治療)	水 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 腹部超音波検査、消化器内視鏡(含む治療)	水 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 腹部超音波検査、消化器内視鏡(含む治療)
	水 曜日 15 : 00 ~ 16 : 30 臨床症例検討会	水 曜日 15 : 00 ~ 16 : 30 臨床症例検討会	水 曜日 15 : 00 ~ 16 : 30 臨床症例検討会
	水 曜日 16 : 30 ~ 17 : 30 消化器内視鏡カンファランス	水 曜日 16 : 30 ~ 17 : 30 消化器内視鏡カンファランス	水 曜日 16 : 30 ~ 17 : 30 消化器内視鏡カンファランス
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

## 教科書・参考書

講義内で紹介

## その他履修上の注意事項

講義・実習・演習の詳細については個別に案内します。  
国内外の学会での報告。  
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。  
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目  
副科目  
共通科目

他の内科学系、放射線診断学、病理診断学などの関連領域を1科目以上、履修する。

消化器疾患特論(必修)

## 関連する専門医資格

内科認定医(日本内科学会)、消化器病専門医(日本消化器病学会)、肝臓専門医(日本肝臓学会)、消化器内視鏡専門医(日本消化器内視鏡学会)、総合内科専門医(日本内科学会)

## キャリアパス(モデルコース)

